

事業完了報告書（神戸市）

調査研究期間等

| | |
|----------|---|
| 調査研究期間 | 令和5年5月31日 ～ 令和6年3月15日 |
| 調査研究事項 | <p>《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》</p> <p>I. 教育課程、教育環境整備に関すること</p> <p>③中学校教育を実施するために必要な日本語指導の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象校2校 神戸市立丸山中学校西野分校 <li style="text-align: center;">神戸市立兵庫中学校北分校 |
| 調査研究のねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・神戸市の夜間中学在学者は、社会生活を営んでいる成人生徒や、日本で社会生活を営んでいる外国人生徒が大半であり、外国人生徒については、全体的に学習言語（日本語）の習得が十分にできていない現状がある。 そのため、全職員による検討も踏まえつつ、生徒の実情に合わせた特別の教育課程を編成し、学校長の判断を以て実施する。 ・外国人生徒に対しては、各言語別に教科年間計画を立て、教育課程の内外で日本語習得の支援及び指導を行う。 <p>以上の教育活動を推進するため研究に取り組み、必要な教材を精選・購入し活用する。</p> |
| 調査研究の成果 | <p>《 神戸市立丸山中学校 西野分校 》</p> <p>在籍者22名中20名が外国籍生徒（6か国）であり、日本の公立中学校の教育課程を実施していくうえで、日本語指導が必要不可欠である。</p> <p>【年間を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、全職員で学習指導打ち合わせ会を開き、習熟度と日本語習得状況を勘案して、習熟度別の学級替えを行った。 ・国語、社会、数学、理科、英語は、それぞれ全校で6つの習熟度別学級を編成し授業を行った。 ・実技科目については、全校を1学級として、教科担任を中心に全職員で授業を実施した。 ・外国人生徒のために各言語別年間計画を前年度末に作成し、新年度入学状況に合わせ、再検討を行った。 ・外国人生徒に日本語指導を行うため必要な教材を購入し、年間を通じて教育課程内外で使用した。 |

国語の授業の中において、日本語理解指導教材として「みんなの日本語」「できる日本語」を購入し、習熟度別に使用した。習熟度別学級の中でさらに細分化して指導を行うための年間計画を立てた。

- ・ 1人一台の学習用パソコンを使用して、習熟度に応じた日本語学習やインターネットからの情報を得て、調べ学習に取り組み、パワーポイントを用いて作成した資料をもとにプレゼンテーションを行った。
- ・ 各教科の授業において、デジタル教科書を効果的に利用することにより、学習内容の理解と定着につなげることができた。
- ・ 多言語の入学案内リーフレットを作成した。
- ・ 中学校を形式的卒業した西野分校入学者に対して、本人の学力と進路希望に合わせて学習指導計画を立てた。カリキュラム作成に当たっては、中学校の教育課程を終えているので校長裁量により学齢経過者特例を活用して教育課程を編成した。各科目の習熟度によっては、小学校段階からの学び直しが必要であり、その際には、小学校の教科書等を使用し、理解の進み具合に合わせ、使用教科書等の学年を随時上げていった。

【4月】新入学生徒受け入れ 7月20日までで22名

(1年生6名・2年生11名・3年生5名)

- ・ 全職員による学習指導検討会議の開催
日本人生徒、外国人生徒、中学校既卒生徒、それぞれの学習能力を確認し、習熟度別学級の編成を行った。

【5月(～3月)】

- ・ 毎月、全職員で学習指導打ち合わせ会を開き、習熟度と日本語習得状況を勘案して、毎月習熟度別の学級替えを行った。

【7月】

- ・ 7日(金)と14日(金)の13時～17時の4時間、神戸YWCAから日本語講師を迎え、「日本語教授法の基本」について研修を実施した。

【8月】

- ・ 1日(火)と2日(水)の13時～17時の4時間、日本語教

師を講師に迎え、実践的日本語指導について研修を実施した。

- ・高等学校進学希望者への補習を開始した。（3月まで）
- ・希望する生徒に個人別補習を実施した。（文化祭作品制作を含む）

【9月、10月】

- ・定時制高校と連携し、高校説明会を開催した。

【11月】

- ・2日（木）文化発表会を実施。学習成果を展示と舞台上で発表。ゲストとして、分校と同一敷地内にある太田中学校1年生生徒及び教職員を招き、展示作品の鑑賞や太田中1年生学年合唱や夜間中学生徒の舞台発表を共に鑑賞するなど、夜間中学への理解を深めるとともに、夜間中学在籍生徒に学ぶ意義を実感させ、互いに交流を深めることができた。

【1月】

- ・次年度教育課程原案編成会議実施（校長、教頭、教務部長）
- ・次年度教育課程の承認（職員会議）
- ・次年度学習指導検討会議（全教員）

【2月】

- ・入学面談開始 2月1日～7月21日
入学資格 中学校未卒者を原則とする。
 - ・市内在住者、市内在勤者
 - ・市外在住で通学できる者
 - ・中学校形式卒業者

については、神戸市教育委員会事務局学校経営支援課学事計画係が対応。また、神戸市外在住者は、神戸市教育委員会事務局経営支援課が在居住地教育委員会との協議の上で対応。

- ・入学希望者体験入学実施（1日）
外国人希望者に面接を実施し、日本語習得状況を確認した。

【3月】

- ・1日（金）作文発表会を開催した。

- ・全教員により次年度学級編成会議を行った。（習熟度別）

《 神戸市立兵庫中学校 北分校 》

在籍者16名中12名が外国籍生徒（5か国）であり、日本の公立中学校としての教育課程を実施していくうえで、日本語指導が必要不可欠である。

【年間を通して】

- ・外国人生徒が多く、教員に日本語指導の知識が必要なので、「日本語指導に関する校内職員研修」を年に3回実施した。
- ・校務分掌に「日本語指導担当」を置いた。
- ・神戸YWCA学院と連携し、日本語指導を希望生徒に週4回程度実施した。（始業前）
- ・生徒の国籍が様々で、お互いの国の文化を尊重する態度を涵養することが大切なため、道德の時間を核として多文化共生を念頭においた人権教育に取り組んだ。
- ・全教員による学習指導検討会議を実施した。
- ・国語は、全校を7学級の習熟度別学級に編成、数学、英語は学年別に3学級ずつの習熟度別学級に編成し授業を行った。
- ・実技科目については、全校を1学級として、教科担任を中心に全職員で授業を実施した。
- ・外国人生徒に日本語指導を行うため、必要な教材をコンピュータで自主作成した。
- ・1人一台の学習用パソコンを使用して習熟度に応じた日本語学習に取り組んだ。また、インターネットから得た情報を元に調べ学習を進め、パワーポイントで作成した資料を用いて、プレゼンテーションを行った。
- ・各教科の授業において、デジタル教科書を利用することにより学習内容を効果的に理解し、定着につなげることができた。
- ・国語科の作文指導に必要な書籍を購入し、指導する。2月の作文発表会（地域にも公開）で、全生徒が成果を発表した。

- ・中学校を形式的卒業した北分校入学者に対して、本人の学力と進路希望に合わせた学習指導計画を立てた。カリキュラム作成に当たっては、中学校の教育課程を終えているので、校長裁量により学齢経過者特例を活用して教育課程を編成した。

各科目の習熟度に応じて、小学校段階からの学び直しを行う際には、小学校の教科書等を使用し、理解の進み具合に合わせ、使用教科書等の学年を随時上げていった。

【4月】新入学生徒受け入れ 7月20日までで24名
(1年生8名・2年8名・3年生8名)

【5月 (～3月)】

- ・毎月、全職員で学習指導打ち合わせ会を開き、個人ごとの学習進捗状況を確認し、各個人に必要な教材を段階的に作成した。また、習熟度と日本語習得状況を勘案して、毎月習熟度別の学級替えを行った。

【6月】

- ・21日(水)の14時から15時30分に、神戸YWCA学院から日本語講師を迎え、全教員に対して、日本語指導研修を実施した。

【7月】

- ・5日(水)の14時から15時30分に、神戸YWCA学院から日本語講師を迎え、全教員に対して、日本語指導研修を実施した。

【8月】

- ・高等学校進学希望者への補習を行った。(3月まで)
- ・希望する生徒に対して個人別補習を行った。
(文化祭作品作りを含む。)

【9月】

- ・6日(水)の14時から15時30分に、神戸YMCA学院から日本語講師を迎え、全教員に対して、日本語指導研修を実施した。

【10月】

- ・6日(金) 18時～20時15分
本校体育館にて運動会を開催

紅白に分かれて競技を行い、日ごろの体育授業の成果を発揮することができた。

- ・ 20日（金）17時05分～20時15分 文化祭を実施
美術科や技術科・家庭科などの授業で制作した作品展示や全学年での器楽合奏、各学年による演目を披露し、学習の成果を発表した。

【11月】

- ・ 29日（水）の14時から15時30分に、神戸YMCA学院から日本語講師を迎え、全教員に対して、日本語指導研修を実施した。

【12月】

- ・ 定時制高校と連携し、高校説明会を開催した。

【1月】

- ・ 次年度教育課程原案編成会議実施（校長、教頭、教務部長）
- ・ 次年度教育課程の承認（職員会議）
- ・ 次年度学習指導検討会議（全教員）

【2月】

- ・ 入学面談開始 2月1日～7月19日
入学資格 中学校未卒者を原則とする。
 - ・ 市内在住者、市内在勤者
 - ・ 市外在住で通学できる者
 - ・ 中学校形式卒業者は、神戸市教育委員会事務局学校経営支援課学事計画係が対応。また、神戸市外在住者は、神戸市教育委員会事務局経営支援課が在住地教育委員会との協議の上で対応。
- ・ 入学希望者体験入学実施（3日）
外国人希望者に対して面接を実施し、日本語習得状況を確認する。
- ・ 2日（金）作文発表会の実施

【3月】

- ・ 全教員により次年度学級編成会議を行った。（習熟度別）